

【5】平成26年11月から今までの間に、<sup>のうそちゅう</sup>脳卒中（<sup>のうこうそく</sup>脳梗塞、<sup>のうけっせん</sup>脳血栓、<sup>のうそくせん</sup>脳塞栓、<sup>のうしゅっけつ</sup>脳出血、<sup>まくかしゅっけつ</sup>くも膜下出血など）であると医師から言われましたか。  
 （脳卒中では、脳の動脈がつまったり、脳の動脈から出血することによって、突然の顔・手足のマヒ・しびれ、言葉のもつれ、突然の激しい頭痛、めまい・ふらつき等の症状を起こします）

1.  いいえ ⇒ 次ページ【6】におすすみ下さい

2.  はい

↳ 「はい」の場合

① 時期 平成 年 月

② どちらの医療機関を受診されましたか

所在地(市区町村名)

医療機関名

所在地(市区町村名)

医療機関名

(後日、医療機関に病名確認のお問い合わせをさせていただきます)

③ 以下のどの病気でしょうか

<sup>のうこうそく</sup>脳梗塞（<sup>のうけっせん</sup>脳血栓・<sup>のうそくせん</sup>脳塞栓を含む）

<sup>のうしゅっけつ</sup>脳出血

<sup>まくかしゅっけつ</sup>くも膜下出血

<sup>いっかせいのうきょけつほっさ</sup>一過性脳虚血発作

その他（ご記入下さい）

わからない

次ページ【6】におすすみ下さい

.....

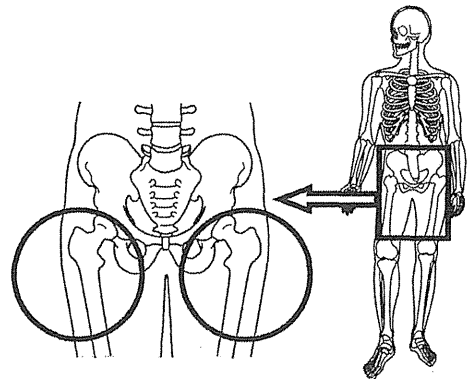
【6】 これまでに<sup>だいたいこつけいぶ</sup>大腿骨頸部（足の付け根部分）を骨折したことがありますか。

1.  いいえ

2.  はい

↳ 「はい」の場合

時期 昭和・平成 \_\_\_\_\_ 年頃



【7】 以下の質問にお答えください。

①現在施設に入所されていますか？ 1.  いいえ 2.  はい

②現在入院されていますか？ 1.  いいえ 2.  はい

③介護保険制度(サービス)を利用していますか？ 1.  いいえ 2.  はい

【8】 あなたは食事、排尿・排便、着替え、入浴、歩行の際、他人の手助けを必要としますか。

1.  いいえ ⇒ 次ページ【9】におすすみ下さい

2.  はい

↳ 「はい」の場合

他人の手助けを必要とする項目全ての□にしるし(✓)をつけて下さい。

食事

排尿・排便

着替え

入浴

歩行

次ページ【9】におすすみ下さい

.....

【9】 毎日の生活についてお伺いします。「はい」か「いいえ」の□にするし(✓)をつけて下さい。(「普段<sup>ふだん</sup>している/していない」ではなく、「やろうと思えばできる」かを考えてお答えください)

- ①バスや電車を使って一人で外出できますか。 1. □はい 2. □いいえ
- ②日用品の買い物ができますか。 1. □はい 2. □いいえ
- ③食事の用意ができますか。 1. □はい 2. □いいえ
- ④請求書の支払いができますか。 1. □はい 2. □いいえ
- ⑤銀行預金・郵便貯金の出し入れが自分でできますか。 1. □はい 2. □いいえ
- ⑥年金などの書類が書けますか。 1. □はい 2. □いいえ
- ⑦新聞を読んでいますか。 1. □はい 2. □いいえ
- ⑧本や雑誌を読んでいますか。 1. □はい 2. □いいえ
- ⑨健康についての記事や番組に関心がありますか。 1. □はい 2. □いいえ
- ⑩友達の家を訪ねることがありますか。 1. □はい 2. □いいえ
- ⑪家族や友達の相談にのることがありますか。 1. □はい 2. □いいえ
- ⑫病人を見舞うことができますか。 1. □はい 2. □いいえ
- ⑬若い人に自分から話しかけることがありますか。 1. □はい 2. □いいえ

【10】 平成26年11月から今までの間に、治療された病気などがありましたら、ご記入下さい。

(例 胃がん、骨粗鬆症<sup>こつそしょうしょう</sup>、腰椎骨折<sup>ようついこっせつ</sup>等)

次ページ【11】におすすみ下さい

【11】以下に、本アンケートを記入された方のご署名をお願いいたします。

氏 名 \_\_\_\_\_

御 関 係 本人・家族・知人・その他 ( )  
(↑該当するものに○をつけてください)

電 話 番 号 \_\_\_\_\_

メールアドレス \_\_\_\_\_

(本アンケートの内容確認等のため、連絡させていただく場合がございますのでご記入をお願いします)

◎ご住所等を変更された場合は、以下にご記入下さい。

新 住 所 \_\_\_\_\_

電 話 番 号 \_\_\_\_\_

【12】次回から電話での聞き取りを希望される場合は□にするし(✓)を入れてください。

希望する(連絡の取りやすい時間帯: \_\_\_\_\_ 時～ \_\_\_\_\_ 時頃)

以下、事務局へのご連絡にご利用ください。

**ご協力、誠にありがとうございました。**

.....

事務局使用欄		受領日
--------	--	-----

## 心疾患 発症調査票

施設名	貴施設における ID	本調査票記入者ご芳名 連絡先E-mailアドレス	本調査票記入日
住所			平成 年 月 日
TEL		@	
患者氏名		生年月日	性別

## 平成26年11月以降の発症についてチェックを入れて下さい

## 1. 心疾患の病型

- 心筋梗塞(内膜下梗塞を含む) → 梗塞部位: 前壁・中隔 側壁 下壁・後壁
- 狭心症 → 病型: 労作性狭心症 冠れん縮性狭心症 その他( )
- 心不全
- 不整脈 \*具体的な病名などご記載ください また、心電図がありましたら、コピーを同封ください  
( )

※ 上記の疾患や上記の期間に該当しない場合はこちらにご記入ください

( )

2. 上記疾患の発症年月日: 平成 年 月 日 ※不明の場合は、貴院初診日をご記入ください

## 3. 心筋梗塞の場合は下記にご記入ください

## ● 胸部症状

- 典型的胸痛(20分以上続く胸痛)
- 非典型的胸痛(上記以外の胸痛)
- 急性左心不全、ショック、失神
- その他 ( ) \*具体的な臨床症状などご記入ください

● 心電図変化の有無:  なし  あり →  異常Q波の出現  ST上昇  T波異常  
誘導部位: \_\_\_\_\_

## ● 心筋逸脱酵素(CPK, GOT, LDH,等)の上昇:

- 有(正常範囲の2倍以上)  有(正常範囲の2倍未満)  なし  不明

## ● 心筋トロポニンTまたは心筋トロポニンIIによる判定:

- 有:陽性  有:陰性  なし  不明

● 蘇生措置の有無:  なし  あり

● 診断に至った冠動脈造影の有無:

- なし  
 あり( \_\_\_\_\_ )

\* 具体的な所見などご記入ください。所見結果用紙のコピー等を添付いただいても結構です

● 診断に至ったその他の検査(冠動脈CT、心筋シンチグラム等)の有無:

- なし  
 あり( \_\_\_\_\_ )

\* 具体的な所見などご記入ください。所見結果用紙のコピー等を添付いただいても結構です

4. 下記の治療の有無をご記入ください

- 経皮的冠動脈インターベンション(PCI)の有無:  なし  あり → 施行年月日: 平成 年 月 日  
 ● 経皮的冠動脈血栓溶解療法の有無:  なし  あり → 施行年月日: 平成 年 月 日  
 ● 冠動脈バイパス術(CABG)の有無:  なし  あり → 施行年月日: 平成 年 月 日

5. 心不全の場合は下記にご記入ください

- NYHA分類:  I  II  III  IV

(発症時の状況をご記入ください)

- 入院治療の有無:  なし  あり

- 心不全の診断根拠(該当する項目すべて)

- 利尿薬や血管拡張薬による追加治療  
 治療に反応して5日間で4.5kg以上の体重減少  
 BNP高値 → ( \_\_\_\_\_ )値を記入ください  
 心エコーによる心不全徴候の確認  
 臨床症状

I	心疾患があるが身体活動には特に制約がなく日常労作により、特に不当な呼吸困難、狭心痛、疲労、動悸などの愁訴が生じないもの
II	心疾患があり、身体活動が軽度に制約されるもの;安静時または軽労作時には障害がないか、日常労作のうち、比較的強い労作(階段上昇、坂道歩行など)によって上記の愁訴が発現するもの
III	心疾患があり、身体活動が著しく制約されるもの;安静時には愁訴がないが、比較的軽い日常労作でも愁訴が発現するもの
IV	心疾患があり、いかなる程度の身体労作の際にも上記愁訴が出現し、また、心不全症状、または狭心症症候群が安静時においてもみられ、労作によりそれらが増強するもの

( 該当する項目に○をつけてください: 呼吸困難、労作時息切れ、起座呼吸、喘鳴)

- 身体所見( 該当する項目に○をつけてください: 肺ラ音、Ⅲ音、頸静脈怒張、下腿浮腫、体重増加)

- 胸部XP所見( 該当する項目に○をつけてください: 心拡大、肺うっ血、胸水貯留)

- その他 ( \_\_\_\_\_ ) \* 具体的な臨床症状などご記入ください

- 心不全の原疾患:

- 虚血性心疾患  弁膜症  心筋症  不整脈  高血圧  その他( \_\_\_\_\_ )  不明

ご協力いただきありがとうございます

事務局使用欄

ID	発送日	受領日

平成 年 月 日

○ ○ 市役所  
住民課 御中

国立大学法人 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門  
教授 三浦 克之

厚生労働科学研究費補助金（指定研究）  
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業  
「社会的要因を含む生活習慣病リスク要因の解明を目指した  
国民代表集団の大規模コホート研究：NIPPON DATA80/90/2010  
（H25－循環器等（生習）－指定－022）」研究代表者

### 住民票（除票）の写しの交付について（申請）

私たちは、旧厚生省が1990年に実施した循環器疾患基礎調査受診者、約8,500人を対象とした大規模追跡・疫学研究(NIPPON DATA90)を、厚生労働省より研究補助を得た研究班として1995年より実施しております。この調査・研究の概要については同封の「公衆衛生情報」掲載の論文をご参照頂ければ幸いです。

本学術研究の目的は、本邦国民における循環器病など生活習慣病に影響する各種因子の解明という公益性のきわめて高いものであり、その成果はすでに学術雑誌をはじめ各種メディアで公表され、本邦の保健医療施策や国民への普及啓発に活用されています。

貴市町村にお住まいの本研究の対象者については、2010年の第4回の追跡調査の際に、貴市町村より住民票（除票）写しの交付をいただき、在籍状況を確認（以下、追跡調査）させていただきました。

本年(2015年)は、前回追跡調査時より、除票の保管期限である5年が経過する年にあたります。本追跡調査対象者のその後の異動情報を確認するため、住民基本台帳法第12条の3に基づき住民票（除票）の写しの交付を申請いたします（第3者申請）。なお、本追跡調査は、厚生労働科学研究費補助金（指定研究）循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業「社会的要因を含む生活習慣病リスク要因の解明を目指した国民代表集団の大規模コホート研究：NIPPON DATA80/90/2010（H25－循環器等（生習）－指定－022）」研究班として実施しております。

申請にあたり、本研究の主旨および方法につきまして下記のとおりご説明いたします。  
なにとぞご高配たまわりますよう、お願い申し上げます。

### 記

#### 1. 申請の目的

本研究は、旧厚生省が1990年に実施した「第4次循環器疾患基礎調査」受診者の調査結果と、現在の生存あるいは死亡の情報を統計学的に分析することにより、本邦国民における循環器病などの生活習慣病に関連する要因を解明し、生活習慣病の予防施策立案に資することを目的としており、きわめて公益性の高いものであります。

この目的達成のため、住民票を手がかりに、追跡対象者が現在貴市町村に在籍されているのか（生存）、死亡されているのか、あるいは転出されたのか（除票）を確認させていただいております。この調査手順は、過去4回の追跡調査時（1995年、2000年、2005年、2010年）とまったく同様です。

なお、循環器疾患基礎調査の対象地区は、1990年度厚生統計標本地区調査により設定された単位区より無作為に抽出された全国の300単位区です。この300単位区の全居住者のうち、1990年11月1日現在で満30歳以上であった者全員を循環器疾患基礎調査の対象者としています。

## 2. 研究班名

厚生労働科学研究費補助金（指定研究）

循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業

「社会的要因を含む生活習慣病リスク要因の解明を目指した国民代表集団の大規模コホート研究：NIPPON DATA80/90/2010（H25－循環器等（生習）－指定－022）」

研究代表者 国立大学法人滋賀医科大学 社会医学講座公衆衛生学部門  
教授 三浦 克之（みうら かつゆき）

（資料として、厚生労働科学研究費補助金交付申請書および同交付決定通知書の写しを同封しています）

3. 申請者 氏名 三浦 克之（みうら かつゆき）

生年月日

住所

（本人確認の資料として住民基本台帳カードの写しを同封しています）

4. 住民票（除票）を必要とする追跡対象者

別紙（循環器疾患基礎調査受診者の一覧）を参照ください。

5. 交付書類の送付先

〒520-8790 滋賀県大津市瀬田月輪町

国立大学法人 滋賀医科大学 社会医学講座公衆衛生学部門

教授 三浦 克之 宛

送付先が申請者の住所と異なる理由

交付された書類による情報は、統計学的に処理し研究に活用することを申請目的としております。このため、申請者の研究実施場所（上記）への送付をお願いいたします。

6. 調査事項の利用範囲

本調査により知りえた事項は、本研究目的のために利用するほかには一切使用しません。また、調査対象者氏名、住所など交付された書類により知りえた内容については、如何なる者にも遺漏しません。本申請は、純粋に学術目的であり、きわめて公益性の高い研究目的によるものです。

なお、本研究による成果は、健康増進法（平成15年5月1日施行）の中核であり、厚生労働省が推進する国民健康作り運動である「健康日本21」の目標値設定のための基礎資料とし



て活用されております。下記、厚生労働省のホームページをご覧ください。「健康日本21」、「健康日本21(第二次)」の循環器疾患予防対策の根拠として、本研究(NIPPON DATA)の成果が引用されています。

[http://www1.mhlw.go.jp/topics/kenko21\\_11/b8f.html](http://www1.mhlw.go.jp/topics/kenko21_11/b8f.html)

[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/dl/kenkounippon21\\_02.pdf](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/dl/kenkounippon21_02.pdf)

#### 7. 交付された書類の最終処理

- |              |  |
|--------------|--|
| (1) 保管場所     | 国立大学法人 滋賀医科大学 社会医学講座公衆衛生学部門<br>の施錠した保管庫内 |
| (2) 保管責任者    | 三浦 克之                                    |
| (3) 保管期間     | 研究終了後 1 年以内                              |
| (4) 保管期間後の処理 | 滋賀医科大学と機密保持契約を結んだ製紙会社に搬入し、<br>溶解処理されます。  |

#### 8. お願い

除票の保管期間は5年とされていますが、保管期間を過ぎた除票につきましても調査可能でしたら、交付いただければ幸いです。

#### 9. 手数料

定額小為替で 円 ( 名分) を同封しています。

#### 10. その他の追記事項

- (1) 本研究の実施計画につきましては、国立大学法人滋賀医科大学倫理委員会の審査を受け、承認を得ています(第17-21-2号 平成27年2月27日)。
- (2) 申請者は国立大学法人に所属する学術研究を行う者です。追跡対象者の個人情報 は独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律に則り厳重に管理することを誓約いたします。
- (3) 今回、住民票の写しの交付を申請する追跡対象者につきましては、前回の追跡調査実施時(2010年)にも、貴市町村あるいは合併前の旧市町村より住民票写しを交付いただいたことを申し添えます。

#### 11. 本申請についての照会先

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

国立大学法人 滋賀医科大学 社会医学講座公衆衛生学部門 大原・宮川

市町村からの問い合わせ先 TEL 077-548-2191 FAX 077-543-9732

(その他の方からの問い合わせ先 TEL 077-543-9732)

#### 12. 理由書送付のお願い(交付不可の場合)

上記の状況を鑑みて、追跡対象者の住民票の写しの交付を是非にお願いするところですが、交付ができないと考えられる場合には、ご面倒ですが、別紙理由書に交付不可の理由をご記入の上、手数料(定額小為替)、対象者リストとともにご返送くださるようお願いいたします。

以上

同封書類等

- (1) 住民票（除票）を必要とする対象者一覧
- (2) 住民基本台帳カードの写し（三浦克之）
- (3) 国立大学法人 滋賀医科大学職員証（三浦克之）
- (4) 平成27年度 厚生労働科学研究費補助金交付申請書（写し）
- (5) 平成27年度 厚生労働科学研究費補助金交付決定通知書（写し）
- (6) 資料：厚生労働科学研究費補助金（指定研究）  
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業  
「社会的要因を含む生活習慣病リスク要因の解明を目指した国民代表集団の大規模コホ  
ート研究：NIPPON DATA80/90/2010（H25－循環器等（生習）－指定－022）」研究組織
- (7) 現在事項全部証明書（国立大学法人滋賀医科大学）
- (8) 資料：「国民代表集団のコホート研究 NIPPON DATA」「NIPPON DATAが明らかにした  
日本人の循環器危険因子」「NIPPON DATAリスク評価チャートの活用」  
「NIPPON DATAが明らかにした介護予防のエビデンス」公衆衛生情報（日本  
公衆衛生協会発行）2012年
- (9) 資料：朝日新聞記事「魚介類食べるほど心臓病死リスク減」（2014年1月31日付）
- (10) 定額小為替
- (11) 交付不可の場合の理由書
- (12) 住民票（除票）の写し 返送用封筒

資料 3-2

様式A (3)

厚生労働科学研究費補助金交付申請書

平成 27 年 4 月 27 日

厚生労働大臣 殿

住 所 〒  
フリカ`ナ ミ`ウ`カ`キ`  
申請者 氏 名 三 浦 克 之 印  
生年月日 19 年 月 日生

平成 27 年度厚生労働科学研究費補助金 (循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業) 交付申請について

標記について、次により国庫補助金を交付されるよう関係書類を添えて申請する。

1. 申請金額 : 金 46,400,000 円也 (うち間接経費 5,338,000 円)
2. 研究課題名 (課題番号) : 社会的要因を含む生活習慣病リスク要因の解明を目指した国民代表集団の大規模コホート研究：NIPPON DATA80/90/2010 (H25-循環器等 (生習) -指定-022)
3. 研究事業予定期間 : 平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで  
( 5 ) 年計画の ( 3 ) 年目
4. 申請者及び経理事務担当者

申 請 者	①所属研究機関	国立大学法人滋賀医科大学			
	②所 属 部 局	社会医学講座公衆衛生学部門			
	③職 名	教 授			
	④所属研究機関 所 在 地 連 絡 先	国立大学法人滋賀医科大学 〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町 Tel: 077-548-2191 Fax: 077-543-9732 E-Mail:			
	⑤最終卒業校		⑥学 位	医学博士	
	⑦卒業年次		⑧専攻科目	公衆衛生学	
	経 理 事 務 担 当 者	⑨氏 名	(フリカ`ナ) ( )		
⑩連絡先・ 所属部局・ 課 名		〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町 国立大学法人滋賀医科大学会計課 Tel: 077-548-2032 Fax: 077-548-2046 E-Mail:			
⑪研究承諾 の有無	有 <input checked="" type="radio"/> . 無 <input type="radio"/>	⑫事務委任 の有無	有 <input checked="" type="radio"/> . 無 <input type="radio"/>	⑬所属研究機関における 間接経費の受入の可否	可 <input checked="" type="radio"/> . 否 <input type="radio"/>



厚生労働省発健0526第3号

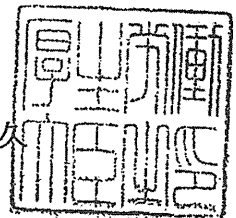
平成27年度厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）交付決定通知書

三浦 克之

平成27年4月27日で申請のあった平成27年度厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）については、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和30年法律第179号）第6条第1項の規定により、次のとおり交付することに決定したので、同法第8条の規定により通知する。

平成27年5月26日

厚生労働大臣 塩崎 恭久



- 1 補助金の交付の対象となる事業（以下「事業」という。）は、厚生労働科学研究費補助金取扱規程（平成10年4月9日厚生省告示第130号。以下「規程」という。）第3条第1項の表第7号に定める事業であり、その内容は平成27年4月27日申請書記載のとおりである。
- 2 事業に要する経費及び補助金の額は、次のとおりである。ただし、事業の内容が変更された場合において、事業に要する経費又は補助金の額が変更されるときは、別に通知するところによるものとする。

事業に要する経費	金46,400,000円
補助金の額	金46,400,000円
- 3 補助金の額の確定は、規程第5条に定める交付額の算定方法により行うものである。
- 4 この補助金は、規程第12条に掲げる事項を条件として交付するものである。
- 5 事業に係る事業実績報告は、規程第16条に定めるところにより行わなければならない。
- 6 この交付の決定の内容又は条件に不服がある場合における補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律第9条第1項の規定による申請の取下げをすることができる期限は、平成27年6月9日とする。

## 資料3-4

厚生労働科学研究費補助金（指定型）

循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業

「社会的要因を含む生活習慣病リスク要因の解明を目指した国民代表集団の  
大規模コホート研究：NIPPON DATA80/90/2010」

### 研究組織

#### 研究代表者

三浦 克之 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 教授

#### 研究分担者

上島 弘嗣 滋賀医科大学 名誉教授  
岡山 明 生活習慣病予防研究センター 代表  
岡村 智教 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学 教授  
大久保 孝義 帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座 教授  
奥田 奈賀子 人間総合科学大学人間科学部健康栄養学科 准教授  
尾島 俊之 浜松医科大学医学部健康社会医学講座 教授  
門田 文 滋賀医科大学アジア疫学研究センター 特任准教授  
喜多 義邦 教賀市立看護大学看護学部看護学科 准教授  
清原 裕 九州大学大学院医学研究院環境医学分野 教授  
斎藤 重幸 札幌医科大学保健医療学部看護学科基礎臨床講座内科学分野 教授  
坂田 清美 岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座 教授  
中川 秀昭 金沢医科大学総合医学研究所 嘱託教授  
中村 保幸 龍谷大学農学部食品栄養学科 教授  
西 信雄 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所国際産学連携センター センター長  
早川 岳人 福島県立医科大学衛生学・予防医学講座 准教授  
寶澤 篤 東北大学東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学部門 教授  
宮松 直美 滋賀医科大学看護学科臨床看護学講座 教授  
宮本 恵宏 国立循環器病研究センター予防健診部 部長  
村上 義孝 東邦大学医学部社会医学講座医療統計学分野 教授  
由田 克士 大阪市立大学大学院生活科学研究科食・健康科学講座公衆栄養学 教授  
有馬 久富 滋賀医科大学アジア疫学研究センター 特任教授  
高嶋 直敬 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 助教



# 国民代表集団のコホート研究

## NIPPON DATA

滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門教授

三浦克之

### 長期追跡研究

#### NIPPON DATAとは？

NIPPON DATA (National Integrated Project for Prospective Observation of Non-communicable Disease And its Trends in the Aged) は、国が実施した全国調査である循環器疾患基礎調査対象者の長期追跡研究(コホート研究)です。

一九八〇(昭和五十五)年の循環器疾患基礎調査の追跡研究がNIPPON DATA 80、一九九〇(平成二)年の循環器疾患基礎調査の追跡研究がNIPPON DATA 90であり、それぞれこれまで二九年、二〇年の長期追跡が行われ、二〇一〇(平成二十二)年に実施された循環器疾患基礎調査後継調査(厚生省研究班が実施)の追跡研究NIPPON DATA 2010もはじまったところです。

全国から無作為抽出された三〇〇地区の国民を対象としたこの研究は、日本国民を

代表する集団のコホート研究に位置づけられ、得られたエビデンスは健康日本21策定、日本動脈硬化学会の診療ガイドライン策定などに活用されています。また、NIPPON DATA リスク評価チャートは、生活習慣病の日常診療で広く用いられるとともに、マスコミなどを通して、国民の生活習慣病予防の啓発にも役立てられています。

NIPPON DATA 80の追跡調査が一九九四年に旧厚生省研究班で開始されて以来、五年ごとの生死と死因の追跡、および日常生活動作(ADL)と生活の質(QOL)の調査が続けられています(図1)。

さらに、NIPPON DATAの対象者は同時に、国民栄養調査(二〇一〇年は国民健康・栄養調査)の対象者でもあるため、国民栄養調査対象者の追跡研究としても位置づけられています。

本研究の生みの親は一九九四年以来、厚生省研究班代表者を務められ、NIPPON DATA 80/90研究グループ代表であ

る上島弘嗣先生(現・滋賀医科大学特任教授、名誉教授)ですが、二〇一〇年から厚生省研究班NIPPON DATA班とNIPPON DATA 2010研究グループの代表を務める筆者から、本研究全体の

方法や成果をご紹介させていただきます。

### 最初の追跡調査で直面した

#### 一人追跡の困難を乗り越え…

一九九四年にNIPPON DATA 80の最初の追跡調査を実施したときには、大変な苦労をされたと、前述の上島先生からお聞きしています。

米国の国民健康・栄養調査であるNHANESなど欧米の同様の調査では、対象者を長期間追跡するコホート研究を行い、その後の死因別死亡との関連を明らかにします。一方、わが国の循環器疾患基礎調査は

一九六一年以来、日本循環器管理研究協議会が協力し一〇年ごとに実施されていますが、追跡調査を行っていませんでした。そ

### <著者略歴>

滋賀医科大学医学部教授(社会医学講座 公衆衛生学部門)  
昭和63年 金沢大学医学部卒業。医学博士。金沢医科大学医学部助手、講師、米  
国ノースウェスタン大学客員研究員などを経て、金沢医科大学医学部助教授、平  
成20年滋賀医科大学医学部准教授、21年より現職。専門分野は循環器疾患・生  
活習慣病の疫学・予防医学・健康教育。日本高血圧学会、日本循環器予防学会、  
日本公衆衛生学会、日本疫学会、日本産業衛生学会など。厚生労働省保険局「レ  
セプト情報等の提供に関する有識者会議」委員、厚生労働省健康局「健康日本21  
評価作業チーム」委員、厚生労働省指定研究NIPPON DATA班研究代表者など

## 魚介類食べるほど 心臓病死リスク減

魚介類に含まれるDHA（ドコサヘキサエン酸）などの不飽和脂肪酸を多く摂取する人ほど脳卒中や心臓病による死亡率が低い傾向にあることが、厚生労働省の研究班（代表・三浦克之滋賀医科大教授）の調査で分かった。日本人を対象に24年間にわたって追跡調査したといい、欧州動脈硬化学会誌に発表される。

研究対象は1980年に厚労省の栄養調査に参加した当時30歳以上の男女9190人（平均年齢50歳）。平日3日間の食事か

厚労省研究班が調査

ら不飽和脂肪酸の1日あたりの摂取量を推計し、2004年までに亡くなった対象者の死因が脳卒中や心臓病といった循環器疾患だったかどうかを調べた。

その結果、サンマ1匹分に当たる1.72gの不飽和脂肪酸を取っていたグループは最も摂取量が少なかった0.42gのグループと比べ、死亡リスクが20%低かった。80年時点で30～59歳と60歳以上に分けた分析では、30～59歳のリスク差が32%とより大きい効果がみられた。

不飽和脂肪酸は中性脂肪を下げたり動脈硬化を抑制したりする効果があるとされていたが、循環器疾患による死亡との関連が分かったのは国内初という。研究班は「魚介類を多く取る和食文化で脳卒中や心臓病を予防できる可能性が示された」としている。（伊藤舞虹）



## 第4次循環器疾患基礎調査対象者へのオプトアウトの機会の提供 (WEB ページ)

NIPPON DATA 80/90



ホーム
お知らせ
研究内容
研究組織
健康教育に  
使える資料
NIPPON  
DATA2010
論文一覧
滋賀医大公衆衛  
生学Topに戻る

### NIPPON DATA 80/90



the National Integrated Project for Prospective Observation of Non-communicable Disease And its Trends in the Aged 80/90



#### NIPPON DATA(ニッポンデータ)とは

NIPPON DATA(National Integrated Project for Prospective Observation of Non-communicable Disease And its Trends in the Aged)は国が実施した全国調査である循環器疾患基礎調査対象者の長期追跡研究(コホート研究)です。

1980年(昭和55年)循環器疾患基礎調査の追跡研究がNIPPON DATA80、1990年(平成2年)循環器疾患基礎調査の追跡研究がNIPPON DATA90であり、現在まで長期にわたる追跡を行っています。

全国から無作為抽出された300地区の国民を対象としたこの研究は、日本国民を代表する集団のコホート研究に位置づけられ、得られたエビデンスは健康日本21策定、日本動脈硬化学会の診療ガイドライン策定などに活用されています。また、NIPPON DATAリスク評価チャートは、生活習慣病の日常診療で広く用いられるとともに、マスコミなどを通して、国民の生活習慣病予防の啓発にも役立てられています。

なお、NIPPON DATA80/90の成立経過と主な知見は、下記の参考図書「NIPPON DATAからみた循環器疾患のエビデンス」(日本医事新報社)にまとめられています。

2010年(平成22年)に実施された循環器疾患基礎調査後継調査(厚生省研究班が実施)とその追跡調査がNIPPON DATA2010です。

**本研究は現在**

平成26年度厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)による指定研究「社会的要因を含む生活習慣病リスク要因の解明を目指した国民代表集団の大規模コホート研究: NIPPON DATA80/90/2010」によって実施されています。



**【参考図書】**

「NIPPON DATAからみた循環器疾患のエビデンス」 NIPPON DATA 研究班 主任研究者 上島 弘嗣 編著  
発行: 日本医事新報社(2008年7月)

↑  
クリックで大画面

第4次 循環器疾患基礎調査対象者の皆さまへ  
25年目の追跡調査についてのお願い

NIPPON DATA90は、1990年(平成2年)に厚生省が実施した第4次循環器疾患基礎調査の対象者(約8,500人)の長期追跡研究で、現在、厚生労働省指定研究として実施されています。本研究を通して明らかになったことは、当ホームページ「研究結果紹介」において公開しています。

2015年(平成27年)は25年目の追跡調査年にあたり、対象者の生死の追跡を住民票請求によって実施する予定です。対象になられている皆様には、何卒ご協力をお願いいたします。調査に参加希望されない場合は、下記までご連絡下さいようお願い致します。

- NIPPON DATA研究班事務局(NIPPON DATA90担当: 滋賀医科大学公衆衛生学部1階内)
- 電話番号: 077-548-2191(受付時間: 月~金曜 10時~17時)
- 専用メールアドレス: nd90[アットマーク]belle.shiga-med.ac.jp [アットマーク]を@に替えてください。

※本研究は本邦における倫理指針に従い、倫理委員会の承認を得て実施しております。



資料4-1

様式第1号（申出書）

平成27年11月9日

厚生労働大臣 殿

国立大学法人滋賀医科大学

社会医学講座公衆衛生学部門

教授 三浦 克之



国民生活基礎調査に係る調査票情報の提供について（申出）

標記について、統計法（平成19年法律第53号）第33条の規定に基づき、  
別紙のとおり調査票情報の提供の申出を行います。

## 資料 4-2

(別 紙)

### 1 統計調査の名称

国民生活基礎調査（基幹統計「国民生活基礎統計」を作成するための調査）

### 2 調査票情報の利用目的

厚生労働省の補助金を受けて行う厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）「社会的要因を含む生活習慣病リスク要因の解明を目指した国民代表集団の大規模コホート研究：NIPPON DATA80/90/2010（H25-循環器等（生習）-指定-022）」の一環として、国民生活基礎調査を我々が「2010年国民健康栄養調査対象者の追跡開始（NIPPON DATA2010）とNIPPON DATA80/90の追跡継続に関する研究（H22-循環器等（生習）-指定-017）」等において作成したNIPPON DATA90研究のデータセットに突合したうえで、NIPPON DATA90研究対象者における社会的要因と循環器疾患危険因子や生活習慣との横断的関連分析及びその予後との縦断的関連分析を行うことにより、現代社会における社会的要因からみた循環器疾患要因並びに日常生活動作（ADL）、手段的日常生活動作（IADL）の低下要因を明らかにすることを目的とする。

NIPPON DATA90研究では、第4次（平成2年）循環器疾患基礎調査に参加した30歳以上の男女を対象とし、循環器疾患等の死亡の追跡とADL、IADLの状況についての追跡調査を、厚生労働省の補助金により当研究班が1995年以降継続して実施している。データセットには、循環器疾患基礎調査のデータとして循環器疾患及び危険因子についての既往、治療状況、問診による生活習慣、並びに心電図検査結果、血液検査結果を含むとともに、当研究班で2015年まで継続収集している循環器疾患等の死亡の情報、ADL、IADLの状況についての情報を有する。

平成2年国民生活基礎調査の利用範囲は、第4次（平成2年）循環器疾患基礎調査の調査地区が、国民生活基礎調査において所得票調査に該当しなかった調査地区よりサンプリングされたことより、第4次（平成2年）循環器疾患基礎調査に参加した者が含まれる平成2年国民生活基礎調査の世帯票の調査票情報の利用を申出する。

### 3 調査票情報の利用者の範囲

滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門	教授	三浦克之
滋賀医科大学アジア疫学研究センター	特任准教授	門田 文
滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門	助教	高嶋直敬
滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門	特任助教	宮川尚子
国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所国際産学連携センター	センター長	西 信雄
大阪市立大学大学院生活科学研究科食・健康科学講座	教授	由田克士
人間総合科学大学健康栄養学科	准教授	奥田奈賀子

### 4 利用する調査票情報の名称及び範囲

- (1) 名称 国民生活基礎調査（世帯票）
- (2) 年次等 平成2年
- (3) 地域 第4次（平成2年）循環器疾患基礎調査における調査地区調査地

区番号は別紙の通り（別紙以外の地域を利用しない。）

(4) 属性的範囲 30歳以上

5 利用する調査事項及び利用方法

<調査事項>

地区番号、単位区番号、世帯番号、生活保護の状況

世帯構造（7分類）※

年齢※

※は厚生労働省で二次的に作成した項目

質問2 平成2年5月中の家計支出額

質問3 作付可能な耕地面積

質問4 最多所得者の世帯員番号

世帯員番号

質問5 世帯主との続柄

質問6 性

質問7 出生年月

質問8 配偶者の有無

質問9 医療保険の加入状況

質問10 傷病状況

質問11 所得を伴う仕事の有無

質問12 勤めか自営かの別

質問12-2（5 一般常雇者における）企業規模・官公庁の別

質問13 公的年金加入状況

質問14 公的年金・恩給の受給状況

（地区番号、単位区番号、世帯番号、世帯員番号、出生年月、性別はNIPPON DATA90  
にリンケージする際のキーとしても使用する）

<利用方法>

上記3の利用者が、下記7の各利用場所において、上記<調査事項>を用いて分析を行う。集計様式は別添の通り。なお、分析は各利用者が専門性を持って実施できるよう、各研究機関・研究室で行うこととした。分担を下記に示す。

○滋賀医科大学 三浦克之、門田 文、高嶋直敬、宮川尚子

- ・世帯状況（単独世帯／複数世帯）によるADL低下の状況（別添1）
- ・配偶者の有無によるがん死亡数（別添2）
- ・傷病状況（入院、通院など）による死亡（全死因）の状況（別添3）

○国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国際産学連携センター 西 信雄

・平成2年5月の家計支出額（等価支出額）の状況による死亡数（全死因）の状況（別添4）

- ・農地面積別のADL低下の状況（別添5）
- ・世帯内の最多所得者とそれ以外の者における循環器疾患死亡数の状況（別添6）

- ・所得を伴う仕事の有無によるADL低下の状況（別添7）

○大阪市立大学 由田 克士

- ・ 自営・雇用の形態によるADL低下の状況（別添8）
- ・ 一般常雇者における企業規模・官公庁別のADL低下の状況（別添9）

○人間総合科学大学 健康栄養学科 奥田奈賀子

- ・ 医療保険の加入状況によるがん死亡数の状況（別添10）
- ・ 公的年金加入の状況によるADL低下の頻度（別添11）
- ・ 公的年金・恩給の受給状況によるADL低下の状況（別添12）

6 利用期間

承諾日から平成28年5月31日まで

7 利用場所、利用する環境、保管場所及び管理方法

(1) 滋賀医科大学（三浦、門田、高嶋、宮川）

①利用場所

滋賀医科大学アジア疫学研究センター個人情報管理区域内

②利用する環境、保管場所及び管理方法

監視カメラ及び入退室管理システムによって入退室が管理されている上記①に限定して利用し、それ以外への持ち出しを禁止する。また、入退室管理システム（個人ICカード及び監視カメラ）や上記①の利用者が個人情報管理区域に立ち入る者をチェックする。

なお、セキュリティエリア内の研究データ用ネットワークはクライアント管理・監視装置、サーバー及び、4台のクライアント（全てワイヤーで固定されている。）からなる外部ネットワークから隔離された専用ネットワーク環境となっている。また、クライアントはアンチウイルスソフト（ESET）の導入、最新のセキュリティパッチの適応などのセキュリティホール対策の導入、ID・パスワード認証、スクリーンロックの導入が図られている。また、使用する端末は常時、アクセスログを取って漏洩防止及び不正使用防止等の処置を講じている。

調査票情報（転写CD-R）は利用時以外、施錠可能なボックスに施錠の上保管し、保管管理責任者は社会医学講座教授（アジア疫学研究センターセンター長）である三浦克之とする。

中間生成物は全て常時施錠可能な室内に設置されたサーバーの記憶装置に暗号化して格納し、クライアントに内蔵される記憶装置には一切の情報の蓄積を行わない。また、これらの情報へのアクセスは上記①の利用者に限定する。保管管理責任者は社会医学講座教授（アジア疫学研究センターセンター長）である三浦克之とする。

(2) 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所（西）

①利用場所保管場所及び管理方法

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所国際産学連携センター長室内

②利用する環境、保管場所及び管理方法